

事業所名

こぼんはうすさくら名取教室

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年 2 月 14 日

法人（事業所）理念		<p>すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちは、お子さまの自立の力をそだて、未来へつなぎます。 「できること」を伸ばし、「できないこと」は一緒にトライ。できるかぎりお子さま自身の力で物事を進めるよう支援します。 2. 私たちは、お子さまの心をはぐくんで、笑顔へつなぎます。 ゆたかな心に笑顔が宿ります。自信にあふれた笑顔を引き出せるよう支援します。 3. 私たちは、ご家族様と共に、夢を咲かせます。 お子さまの発達には、私たちだけではできません。ご家族さま、幼稚園、保育園、保育所、地域と連携してお子さまを支えます。 			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・発達や障害の特性に応じ様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供し、自尊心や主体性を育て、発達上のニーズに合わせた育ちの充実を図ります。 ・家族の意向を受け止め、きょうだいを含めた家族を支援していくことを通じて暮らしや育ちを支えます。 			
営業時間		9 時 50 分から 17 時 00 分まで	<table border="1"> <tr> <td>送迎実施の有無</td> <td>あり なし</td> </tr> </table>	送迎実施の有無	あり なし
送迎実施の有無	あり なし				
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の健康チェックとご家庭との情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。個々の健康状況を把握し、健康に過ごせるよう活動を計画し取り組みます。 ・お支度の時間は、基本的な生活スキルの獲得を目指す機会と捉え、空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちを図ります。 ・身支度などを通して微細運動を日々行い、生活に必要な基本的儀尿の向上に繋げ、身辺自立が出来るよう支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりの会、終わりの会での着座姿勢、注目、お話を聞いて次の活動へ行動するなどの基本的技能の向上を図ります。 ・集団プログラムの中で感覚あそびや運動あそびを取り入れ、「楽しい!」「面白い!」の中で、発達の土台を育むことに力をいれています。 ・感覚の特性による困りごとや運動の苦手さは、集団における個別のアプローチにおいて、ご家族・ご本人・支援者が三位一体となって解決を目指します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お集まりや集団活動を通して、ルールを聞いて行動できるように支援します。時間・日付・天気などの概念を形成できるよう支援します。 ・【注意を向けること】【操作すること】【協調させること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やこぼの基礎となる認知機能を育むことに力をいれています。 ・行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援に取り組んでいます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に興味を持ち、獲得していくとともに、自分なりの表現（発声や身振り、手振り、しぐさ、態度など）で相手に伝えようとする意欲を大切に支援します。 ・コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を育むことを大切にしています。 ・集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別の課題には専門的側面から支援することを目指しています。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所における関係性の中に安心の基地を置くことができ、遊びの中で社会性が促進できるよう支援します。 ・自己や他者を理解し向き合うことに寄り添い、相互が心地よく過ごせる関係づくりを体得できるよう支援します。他者への興味、関心、関わる事を支援します。 ・遊びの中や活動の中で、ルールや順番の理解など、周りの状況に気づき、次の行動へつながるよう支援します。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時でのコミュニケーションを大切にし、お子さまの様子を共有します。 ・きょうだいを含む家族からの相談に対する支援も行います。 ・相談支援専門員や地域保健師との連携を図ります。 ・保護者会を開催し、日々の活動報告や将来に向けての研修を実施します。 	<table border="1"> <tr> <td>移行支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園等への移行支援、併用先との連携を行います。 ・進路相談、学校見学同行など、地域保健センターと連携を取りながら一緒に取り組みます。 </td> </tr> </table>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園等への移行支援、併用先との連携を行います。 ・進路相談、学校見学同行など、地域保健センターと連携を取りながら一緒に取り組みます。
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園等への移行支援、併用先との連携を行います。 ・進路相談、学校見学同行など、地域保健センターと連携を取りながら一緒に取り組みます。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉・教育等の関係機関や障害福祉サービス事業所等との連携 	<table border="1"> <tr> <td>職員の質の向上</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での研修の実施（本部研修を含む） ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講、その他研修の受講 </td> </tr> </table>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での研修の実施（本部研修を含む） ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講、その他研修の受講
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での研修の実施（本部研修を含む） ・保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 ・強度行動障害支援者養成研修の受講、その他研修の受講 				
主な行事等		<p>季節の行事（子供の日、母の日、父の日、虫歯予防デー、七夕、夏まつり、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、バレンタイン、ひな祭りなど）、親子遠足、運動会、誕生日のお祝い、ハッピーファミリールーム（保護者会、参観、親子制作、懇談会、勉強会、茶話会など）、事業所外活動（公園、消防署見学、郵便局見学、仙台空港見学など）</p>			

事業所名

こぼんはうすさくら名取教室

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年 2 月 14 日

法人（事業所）理念		<p>すべての答えは児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 私たちは、お子さまの自立の力をそだて、未来へつなぎます。 「できること」を伸ばし、「できないこと」は一緒にトライ。できるかぎりお子さま自身の力で物事を進めるよう支援します。 私たちは、お子さまの心をはぐくんで、笑顔へつなぎます。 ゆたかな心に笑顔が宿ります。自信にあふれた笑顔を引き出せるよう支援します。 私たちは、ご家族様と共に、夢を咲かせます。 お子さまの発達は、私たちだけではできません。ご家族さま、幼稚園、保育園、保育所、地域と連携してお子さまを支えます。 	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 発達や障害の特性に応じ様々な遊びや多様な体験活動の機会を提供し、自尊心や主体性を育て、発達上のニーズに合わせた育ちの充実を図ります。 家族の意向を受け止め、きょうだいを含めた家族を支援していくことを通じて暮らしや育ちを支えます。 	
営業時間		9 時 50 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時の健康チェックとご家庭との情報共有により、健康状態の維持・改善を図ります。個々の健康状況を把握し、健康に過ごせるよう活動を計画し取り組みます。 お支度の時間は、基本的な生活スキルの獲得を目指す機会と捉え、空間や時間の構造化やスモールステップでの支援によりスキルの獲得と自立への育ちを図ります。 身支度などを通して微細運動を日々行い、生活に必要な基本的儀礼の向上に繋げ、身辺自立が出来るよう支援します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚、触感、など基礎感覚の発達を促す活動（サーキット、ボール、縄跳び、ジャンプなど）を通して、手指動作の向上や体幹、バランス感覚の向上を支援します。 集団プログラムの中で楽器、模写、力のコントロール、目と手の協応など、実際の生活に必要な技術の向上を支援します。 感覚の特性による困りごとや運動の苦手さは、集団における個別のアプローチにおいて、ご家族・ご本人・支援者が三位一体となって解決を目指します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的アプローチ、創作活動などを通して、視覚・触覚などを通じて物の形、色、重さ、距離、幅などの感覚を養えるよう支援します。 【注意を向けること】【操作すること】【協調させること】を生活や遊びの中で積み重ね、行動やことばの基礎となる認知機能を育むことに力を入れています。 行動の背景をご家族と支援者が一緒に考え、学校とも共有していきながら、ご本人にとって心地よい環境や過ごし方につなげる支援に取り組んでいます。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性にあったコミュニケーション方法を把握し、発声、ジェスチャー、絵カードなど有効手段を見つけていながら、自己表現できるスキルを習得出来るよう支援します。 コミュニケーションの原動力となる【伝えたい気持ち】を育て、ご本人の特性や発達段階に応じた【伝える手段】を育むことを大切にしています。 集団場面において人とコミュニケーションを経験し、個別の課題には専門的側面から支援することを目指しています。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 事業所における関係性の中に安心の基地を置くことができ、遊びの中で社会性が促進できるよう支援します。 自己や他者を理解し向き合うことに寄り添い、相互が心地よく過ごせる関係づくりを体得できるよう支援します。他者への興味、関心、関わる事を支援します。 遊びの中や活動の中で、ルールや順番の理解など、周りの状況に気づき、次の行動へつなげるよう支援します。 	
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校の移行支援、併用先との連携を行います。 進路相談、学校見学同行など、地域保健センターと連携を取りながら一緒に取り組みます。
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での研修の実施（本部研修を含む） 保健・医療・福祉・教育等に関する外部研修の定期的な参加 強度行動障害支援者養成研修の受講、その他研修の受講
主な行事等		季節の行事（子供の日、母の日、父の日、虫歯予防デー、七夕、夏まつり、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、バレンタイン、ひな祭りなど）、親子遠足、運動会、誕生日のお祝い、ハッピーファミリールーム（保護者会、参観、親子制作、懇談会、勉強会、茶話会など）、事業所外活動（公園、消防署見学、郵便局見学、仙台空港見学など）	